

ももたろう基金【第3次助成】 事業実施報告書

実施事業： 子供たちに楽しい夏の思い出を！
～ペットボトルロケット&スカイランタンを飛ばそう～

実施者名： 災害支援ネットワークNPOかけはし

助成金額： 187,000円

実施した事業の内容・成果

8月25日(土)16:00～21:00の日程で、新見市正田「憩いとふれあいの公園」を会場に「にしみこどもまつり」を開催しました。

豪雨災害の影響により、市内最大のまつり「新見ふるさと祭り」や「上市花火大会」など、子ども達が楽しみにしていた行事が相次いで中止となっていました。「そんな子ども達に少しでも楽しい思い出を」という思いから、有志によるこの祭りが企画されました。

この祭りで、サッカー教室やフリスビー教室、ドラム缶つづし、盆踊り、屋台など、それぞれの団体の得意分野を活かした、子ども達目線の企画が多々あり、私たちはペットボトルロケット大会とスカイランタン飛ばしを実施しました。

当日は、約1000人が来場し、ペットボトルロケット大会には幼児～中学生までの約20人が参加。高校生と一緒にペットボトルに羽をつけたり、シールをはったりするなどオリジナルのロケット作りを楽しみました。

参加者をランダムに班編制したために、初対面の子ども同士が多かったですが、一度飛ばしたあとで、どうすればもっと飛ばせるかをメンバー同士で相談し、協力しながら改良するグループもあり、新たな交流も生まれました。終了後は各々が自分のロケットを大事そうに持って帰っていました。

スカイランタンでは、50基のスカイランタンを揚げました。夜の公園でほのかに光るランタンのやわらかい明かりは、来場者の心を和ませます。掲揚の際には多くの子ども達がそれぞれのランタンを持ち、空に放ちました。ほとんどの子ども達が、初めての経験であり、「きれい～」「わあ～」という歓声が会場内に広がりました。大人にとっても幻想的な風景で、飛んでいくスカイランタンを多くの親子がずっと見つめていました。

祭りに参加された方からは、「子どもの良い思い出作りができました。」「楽しかったので、来年もまたやって欲しいです。」などの声が多く聞かれました。



決算報告 (※原則として領収書の写しを添付いただきます。)

今回実施した事業の決算内容は下記の通りです。

費目		金額(円)
	ももたろう基金(助成申請額)	187 000
収入合計		187 000

費目	算出根拠	金額(円)
①当プログラム助成金 対象費目 当プログラム助成金(このプログラムで集めた寄付金)を充る費目	ペットボトルロケットキット一式 20セット	76 036
	スカイランタン 40セット	63 197
	LEDスカイランタン 50セット	42 000
	ヘリウムガス	5 400
	消耗品	367
	小計	187 000
②その他費目 当プログラム助成金(このプログラムで集めた寄付金)を充てない費目		
	小計	

寄付者へのメッセージ

この度はご寄付を頂きありがとうございました。おかげさまで、想像していた以上の来場者の方々にもご参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。

「被災した子ども達に つても楽しい思い出をつくってあげたい」という思いから、有志が集まって企画したイベントでしたが、来場者の方々からの感想をお聞きすると、無事目標が達成できたと実感しています。

今回の豪雨災害で失ったものは本当にたくさんあります。し

かし、今まではなかった繋がりが構築されたり、支援して下さるたくさんの方の思いに触れたり、この災害があったからこそ得ることができたこともたくさんあります。

新たに構築できた繋がりを大切に、子ども達の笑顔のために、日 日を大切に歩んでいきたいと思っています。今後ともご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い致します。

本当にありがとうございました。

今後の活動

避難所から仮設住宅への移住が始まっており、また新たなコミュニティの構築がこれから始まります。なれない環境下におかれた子ども達は、どうしてもストレスを蓄積してしまいます。このストレスや被災のトラウマを上手にケアしないと、P SD(心的外傷後ストレス障害)を発症したり精神的バランスを崩してしまったりすることは、過去の大規模災害の例から見ても明らかです。また、復興が進められている現地では、運動場など広場への仮設住宅設置やトラック等の車両通行に伴い、子供たちの移動が制限されていることから、子供たちの極度な運動不足が問題となっています。

これからの日本を担う子供たちのために場所と時間を提供し、ストレス軽減など心のケアや運動不足の解消、学習支援等を行うことが重要だと考えており、今後も子ども達をサポートする活動を展開していきたいと思っています。

